

特大スタンド灰皿、活用を JT岐阜支社、下呂市に4基寄贈

日本たばこ産業(JT)岐阜支社(景山徹也支社長)は24日、メッセージボード

付きの特大スタンド灰皿4基を下呂市に寄贈した。市が下呂温泉街に整備する喫



下呂市からの感謝状を受けた日本たばこ産業岐阜支社の景山徹也支社長(左)と、目録を手にする山内登市長(同市役所)

煙スペースに設置する予定で、景山支社長らが市役所を訪れ、山内登市長に目録を贈った。また市から同支社に対し感謝状が贈られた。

観光客の増加や要望を受け、市は受動喫煙防止などの観点から、2月中旬をめぐりに屋外喫煙スペースを整備する。この事業に先立ち、同支社が設置場所などの助言や監修で協力したことをきっかけに寄贈が実現した。

喫煙所を置くのは幸田地区と森地区にある市営駐車場、湯之島わいわい広場と市役所に隣接するまちかど公園の4カ所。各喫煙所に

寄贈されたスタンド灰皿を置く。スタンド灰皿は、喫煙マナーなどを呼びかけるメッセージボードがあり、高さは約1・8メートル。

景山支社長は「分煙への協力を通して、下呂のまちづくりに寄与できることは大きな喜び」と語り、山内市長は「素晴らしいタイミングでの寄贈で大変ありがたい。これを契機にさらに整備を進めたい」と話した。

(原田大介)